

# 「2019年上期の回顧と下期の展望」

～内外の環境変化にどう対応するか～

機械金属部会

山田 佳宏

2019年8月22日

# 《当部会会員企業の事業分野》

事業・製品分野	会社数	事業・製品分野	会社数
インフラ全般	3	潤滑油	1
鉄鋼	4	金属加工油剤	1
電力関連	1	ベアリング	1
建設機械	3	ドライブシャフト	1
小型ディーゼルエンジン	1	紙パルプ関連	1
トラクター	1	プラント・工場用制御システム・機器	3
ポンプ	1	移動式クレーン	1
レーザー切断機	1	天然資源	1
切削工具	2	計17分野	延27

(注) 複数分野を有する会社は、該当分野毎に重複してカウント。  
 会員企業94社中、今回シンポジウム用レポート提出があった会社について集計

# 目 次

---

## 1. マクロ指標関連

## 2. セグメント別状況

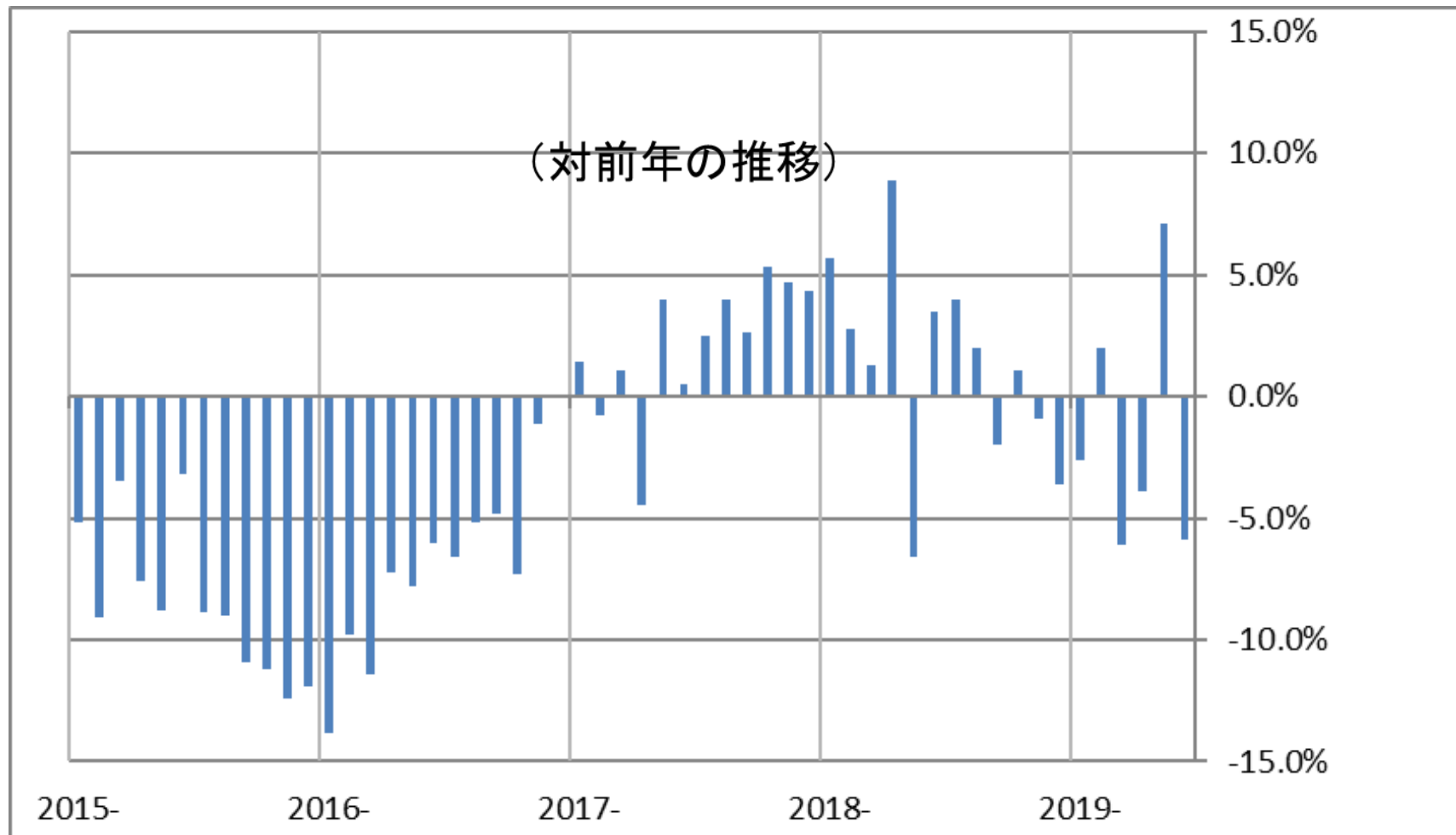
- (1) 鉄鋼
- (2) 電力
- (3) 建設機械
- (4) 自動車産業関連
- (5) 農業・産業機械関連
- (6) 石油・ガス、紙パルプ産業関連

## 3. 副題 内外の環境変化にどう対応するか

# 1. マクロ指標(1)

## ブラジル鉱工業生産

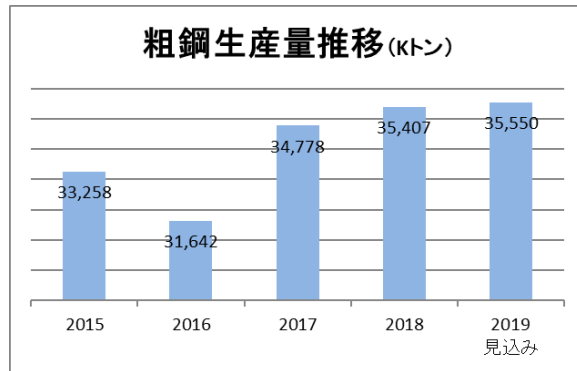
出所: IBGE(ブラジル地理統計院)



# 1. マクロ指標 (2)



## 2. セグメント別状況(1) 鉄鋼



2019年1-6実績

数量: 千トン、前年同期比、ブラジル鉄鋼協会(IABr)

	生産		国内販売		輸出	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
粗鋼*	17,247	▲ 1.4%	9,241	1.3%	6,718	▲ 2.4%
圧延鋼板	6,833	▲ 3.9%	5,423	3.2%	1,228	▲ 2.8%
形鋼	4,735	▲ 0.1%	3,615	▲ 1.2%	960	3.9%
スラブ	4,052	▲ 2.5%	95	120.9%	4,400	▲ 0.8%
他	452	▲ 24.8%	108	▲ 33.7%		
					輸入	1,256 0.6%

\*国内販売・輸出欄は合計

(注)輸出は国内ミルのみの統計

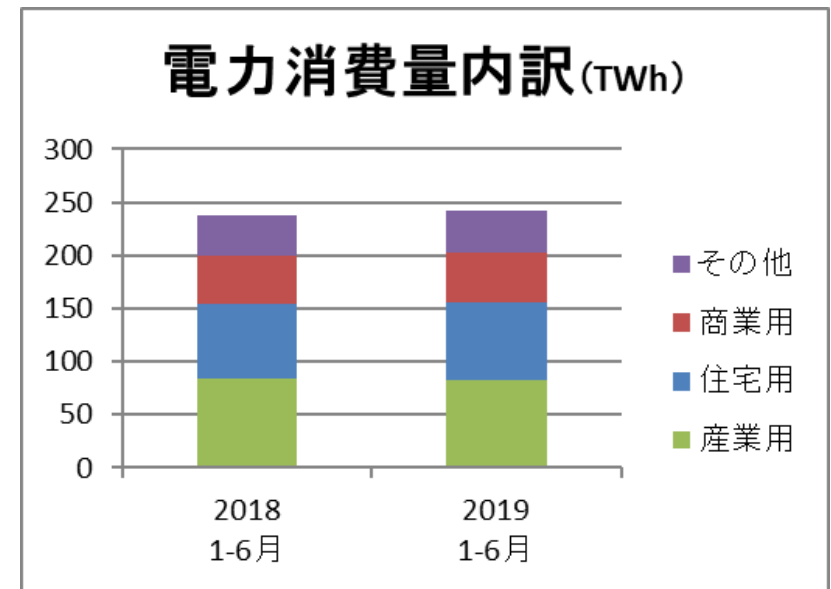
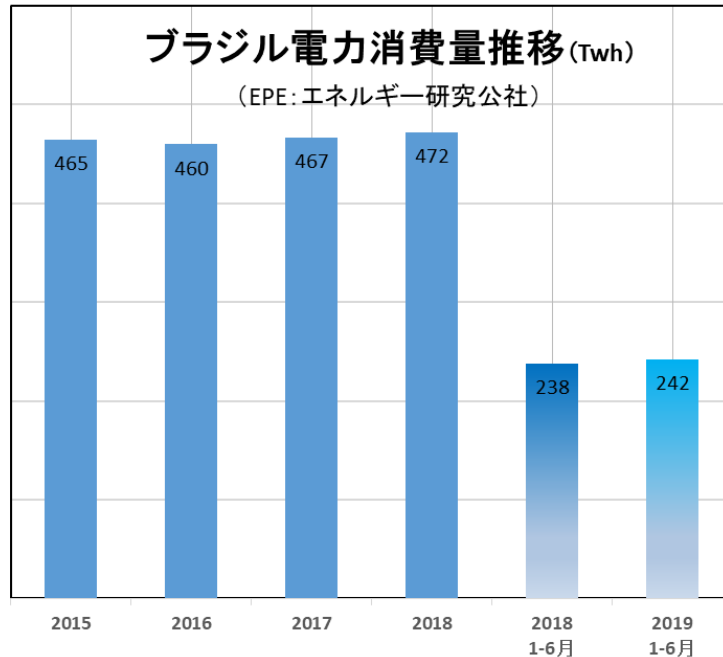
### 《2019年上期の回顧》

1. 生産 1-6月の粗鋼生産量は、対前年比△1.4%のマイナスとなった。
2. 国内販売 対前年比1.3%の増加となっているが、昨年は5月にトラック運転手ストがあり、販売量が落ち込んだことが主な要因。
3. 輸出 アルゼンチン通貨危機の影響等で、対前年比で△2.4%の減少。
4. 輸入 国際市況低下で輸入量増加懸念があったが、国内需要回復の停滞・ドル高の影響もあり、ほぼ横ばい。

### 《下期の展望》

1. 原料価格高騰・鉄鋼需要の伸び悩みにより、生産・販売ともに厳しい状況が継続。  
2019年鋼材見かけ消費量見通し(ブラジル鉄鋼協会) 4月: +6% → 7月: +2%
2. 一方、同協会は、鉄鋼業において、今後5年間で90億ドルの設備投資が見込まれる旨を発表している。

## 2. セグメント別状況(2) 電力



### 《2019年上期の回顧》

1. ブラジル電力消費は、産業用が依然として横ばいであるが、住宅・商業用等の需要が伸びて、全体としては引き続き回復基調にある。
2. 電力オークションは、太陽光・風力・水力が大半を占めた。

### 《下期の展望》

当部会関連企業が関係するバイオマス関連の動きは、引き続き低調と見込まれる。

## 2. セグメント別状況(3) 建設機械



### 《2019年上期の回顧》

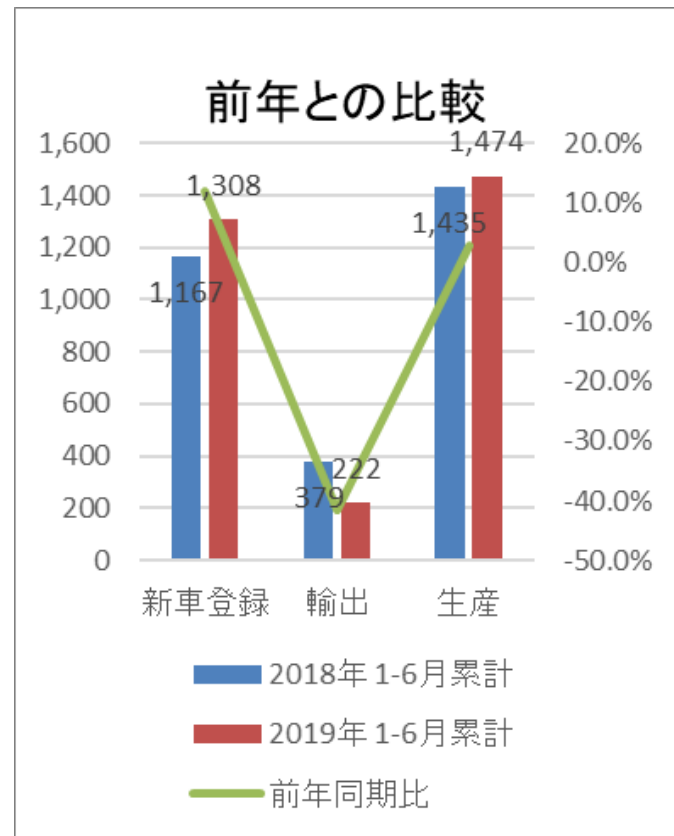
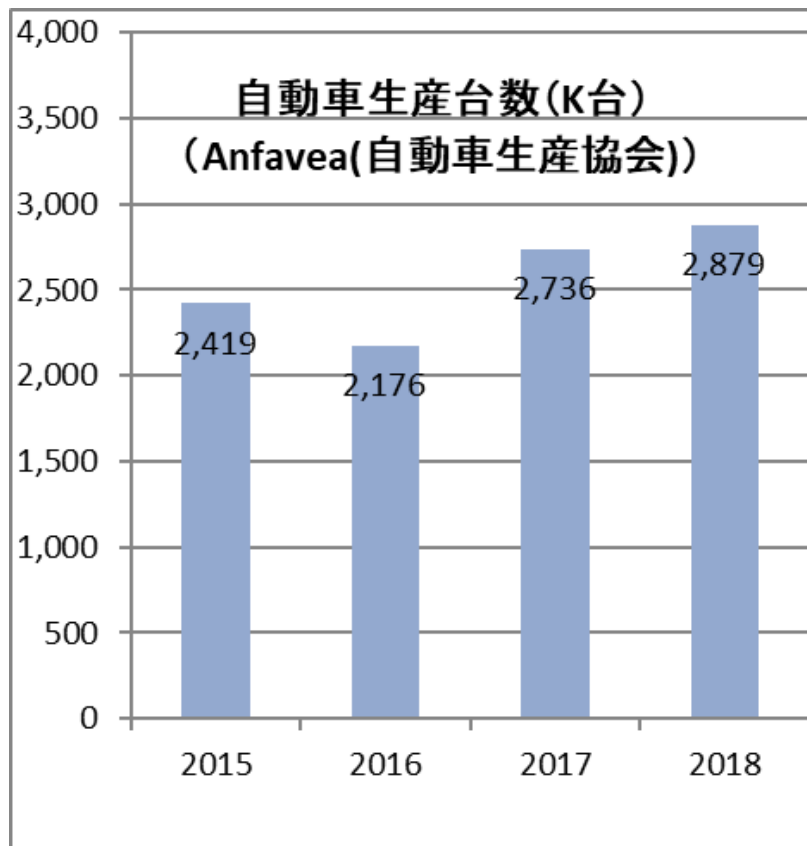
1. 建設機械の国内販売は、レンタル向けの好調や昨年底を打った建設需要の好転により、前年比+28%増と当初予想を大幅に上回った。なお、農業向けは予算不足に伴う政府金融支援中断(上期後半)の影響で、伸び悩んだ。
2. 輸出は、アルゼンチン向けの減少が大きく足を引っ張り、前年比△8%減少。

### 《下期の展望》

1. 国内需要 土木・建築向、農業関連、碎石・窯業・セメント向、レンタル・アウトソーシング向、いずれも堅調に推移する見通し。
2. 輸出 米中貿易摩擦の悪影響を無視できず、動向を緊密に注視する必要あり。



## 2. セグメント別状況(4) 自動車産業関連①



### 《切削工具》

主力ユーザーである自動車産業の動向を反映し、前年同期比を上回ったものの、徐々に受注が鈍化する傾向にある。

下期は、米中貿易摩擦の懸念はあるが、自動車業界以外への拡販等に伴い、引き続き需要が増加する見通し。

## 2. セグメント別状況(4) 自動車産業関連②

### 《ベアリング》

自動車向けは、アルゼンチン向け輸出の落込みにより上期後半から急速に冷え込んだが、二輪向けは堅調。一般産業機械向けは、多くの企業が新規投資を控え、上半ばから受注が急減した。

下期は、二輪は引続き堅調であるものの、自動車・一般産業向けは、回復は期待薄である。

### 《ドライブシャフト》

アルゼンチン向け自動車輸出の落込み等により、上期は前年同期を下回った。

下期は景気回復期待感はあるものの、上期の落込みはカバーできない見通し。

### 《潤滑油》

上期は、自動車・フォークリフト向け初期充填油の増加により、対前年比大幅増加。

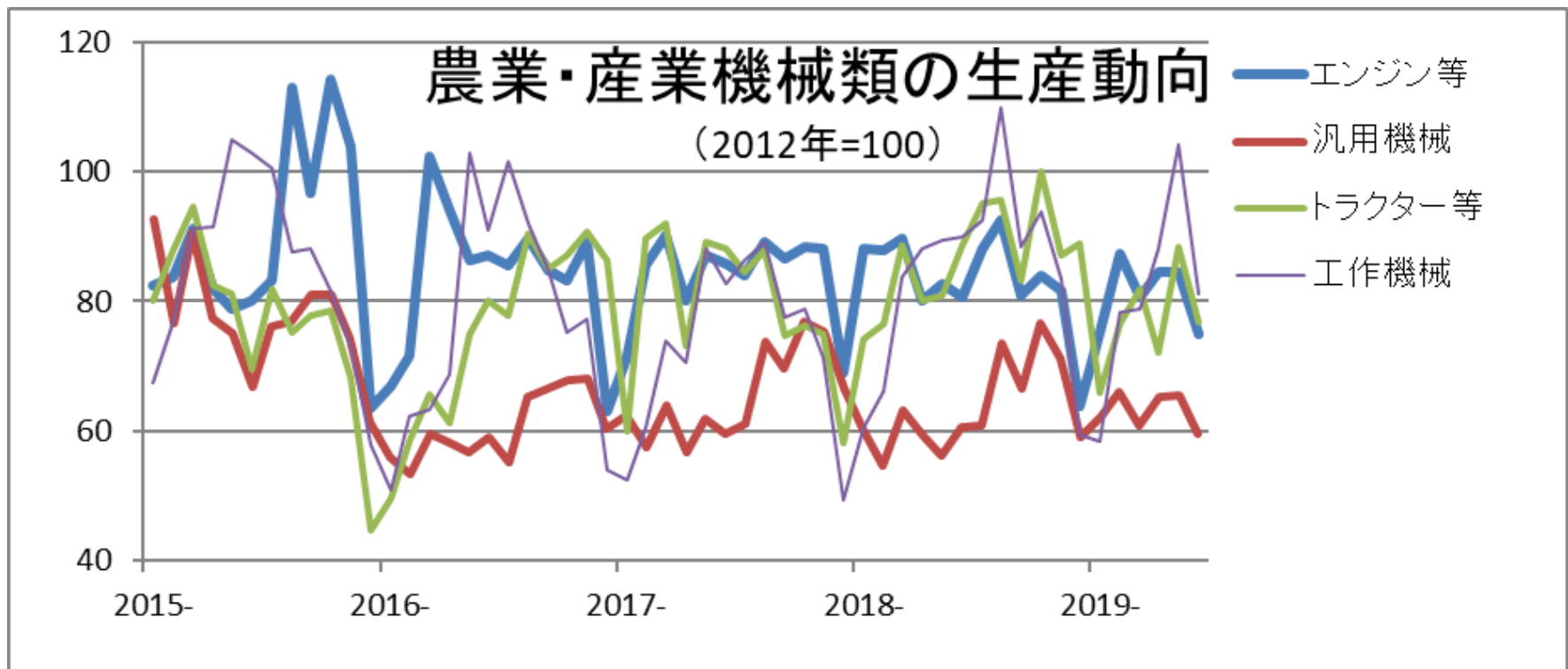
一方、工業分野は需要家の使用量削減に伴い減少。

下期も、上期と同様の傾向が続く見込み。

### 《金属加工油剤》

上期は、消費量がそれほど拡大しない一方で、コスト削減を目的とした消費量削減活動に苦戦。下期も景気先行き不透明感に伴い、厳しい状況が続く見込み。

## 2. セグメント別状況(5) 農業・産業機械関連①



28.1 エンジン、ポンプ、コンプレッサー、トランスミッション 機器の製造  
28.2 他の汎用機械装置の製造  
28.3 農業および家畜用トラクターおよび機械装置の製造  
28.4 工作機械の製造 以上いずれもIBGE分類

## 2. セグメント別状況(5) 農業・産業機械関連②

### 《小型ディーゼルエンジン》

上期は、多気筒(日本製)と発電機セットの販売は回復したが、横型単気筒が大きく落ち込み、対前年比で若干の減少となった。

下期は、農作業機メーカー向けが振るわず、苦戦が予想される。

### 《トラクター》

上期は、BNDESの農業向け低利融資が停止状態となっていることにより、低迷。

下期は、融資再開や良好な農作物収穫に伴い、需要は上向く見通しであるが、年間では昨年を下回る見込み。

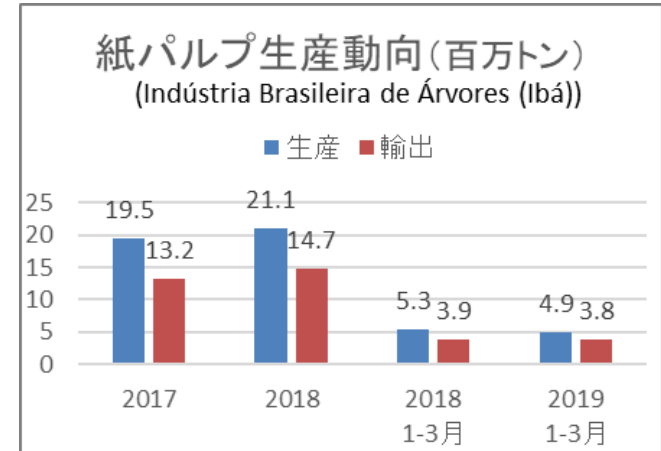
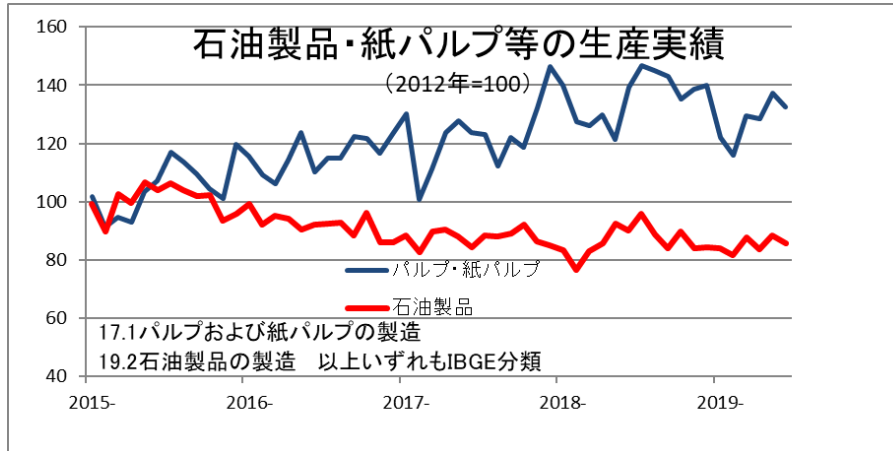
### 《ポンプ》

年初は需要に力強さが見られたが、現状は足踏み状態で、上期はほぼ昨年と同レベル。下期は、経済成長見通しの下方修正に伴い、先行きは不透明。

### 《レーザー切断機》

依然として厳しい状況が継続。

## 2. セグメント別状況(6) 石油・ガス、紙パルプ産業関連



### 《ボイラ》

紙パルプ業界の中規模プラント及びボイラ更新計画、製紙業界の既設ボイラの大規模メンテナンス工事の動向を注視する。

### 《プラント・工場用制御システム・機器》

上期は、鉄鋼メーカーの保全投資回復、石油・ガス上流分野の新規設備投資、パルプ産業における生産拡大投資等に伴い、受注も堅調。下期も同様の傾向の見通し。

### 《移動式クレーン》

上期は、レンタル会社向、製紙業界向、マイニング業界向等により、前年を上回る見通し。下期は、製紙、マイニング、エネルギー、石油・ガス業界設備投資の動向を注視。

### 3. 副題について

### 内外の環境変化にどう対応するか

#### 1. 最近のトピックスについて

- ・**社会保障改革法案下院通過(7月)**は、明るいニュース  
一方で、実現時期が不透明、これのみではブラジル経済は本格回復しない。(税制改革その他の構造改革も必要)
- ・**EU・メルコスールFTA合意(6月)**に伴い、種々の対応が必要  
ブラジル国内生産の拡大、メルコスール他国活用によるコスト削減、ブラジルからの輸出拡大等アイデアはあるが、具体的検討を開始するには時期尚早。

#### 2. 当部会にとってのマクロな環境変化とは

- ・ブラジルが自由貿易政策を推進することは確実。これに対応するため、ブラジルコスト削減や低生産性改善は、必ず実行される。
- ・これとも関連して、世界的な潮流でもあるESG、ICT、AIの波はブラジルにも押し寄せて来ている。

⇒ 足元で生産性向上を図りつつ、上記の環境変化に応じたビジネスチャンスを探る。

---

**ご清聴ありがとうございました。**

**Obrigado!**